



らくたか連携だより

〒370-0829 群馬県高崎市高松町36

代表 (TEL) 027-322-5901

地域医療支援・連携センター (TEL) 027-322-5835

(FAX) 027-322-5925

7月号

(第102号・平成27年発行)

薬剤科から薬剤部へ

～薬剤部の紹介～



[次ページへ](#)

【理念】

患者さんから信頼される病院を目指します

【基本方針】

- 常に患者さん本位の医療を心がけます
- 研鑽に励み、安全で良質な医療を提供します
- 医療連携を積極的に推進し、地域医療に貢献します
- 良き医療従事者の育成に努めます
- 臨床研究を推進します
- 健全な病院経営を行います

【看護の理念】

人間の尊厳を大切にし、専門的な知識、技術を持ち、心のこもった看護を提供します

【患者さんの権利を守ります】

- 誰でも良質で安全な医療を受ける権利があります
- 患者さんの人格や価値観が尊重され、医療提供者との相互協力のもとで医療を受ける権利があります
- 病気、治療等について、十分な説明を受ける権利があります
- 他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります
- 病気等について十分な説明を受けたうえで、自分の意志で検査や治療方法を選択したり、他の医療機関を選択する権利があります
- 医療情報に関する個人のプライバシーが守られる権利があります

薬剤科から薬剤部へ



前ページより

薬剤師が病棟に出向く「薬剤管理指導業務」が当センターで開始され早や19年が経過し、平成27年4月より薬剤科は薬剤部となりました。この間に私は3度在籍して薬剤業務が大きく変わることを経験してきました。

外来ではお薬が出た時には、お薬と医薬品情報提供書が窓口で渡され、また入院されたことのある患者さんなら薬剤師が訪問してくることが大分わかってきたことと思います。今回は薬剤部の業務の変遷とこれからの業務について考えてみました。

昭和57年、薬剤師数は5名、おもに入院と外来の調剤、製剤が中心でした。外来患者さんにはお薬の待ち時間が最大で3時間程かかり大変ご迷惑をおかけしました。また、当時の注射剤は箱で払い出し、病棟での定数管理となっていました。

平成2年、薬剤師数は7名となりました。平成8年には、薬剤管理指導業務の届出をしました。医局にご協力をいただき、院外処方箋の発行を推進し、薬剤科の業務は外来調剤から入院患者さんの服薬指導へスイッチを切りかえるとともに注射薬の個人の払い出しを開始しました。

平成24年、病棟薬剤業務が開始されました。各病棟に1名薬剤師を配置するため、平成26年、人員はすでに21名となり院外処方せん発行率は90%でした。この間に薬剤部が行ったことは、薬という物を扱うことから薬の情報を提供し患者さんの治療に役立ててもらふことそして患者さんの病気を治す手助けを直接に医療従事者とチーム医療を通して行うことと範囲を広げていきました。そこで現在の薬剤業務と今後の業務展開をご紹介します。

1. 調剤業務

医師による処方箋に従って内用薬、外用薬を調剤します。薬の量が年齢、体重等適切な量であるか、飲み合わせの悪い薬はないかをチェックして患者さんにお出ししています。



計 量




分 包




薬の取り揃え



監 査

次ページへ 

薬剤科から薬剤部へ

 前ページより

2. 注射薬払い出し業務

医師による注射処方箋に従って個人ごとに払い出しています。薬の量が年齢、体重等から適切な量であるか、配合変化はあるのか、投与方法や速度は適切か、チェックをして払い出しています。



注射業務



注射個人セット

3. 医薬品情報管理業務

医薬品の情報を製薬会社や医薬品医療機器総合機構より情報の収集、他部門や患者さんからの問い合わせに対してお答えをし、また月1回医薬品情報誌(薬匙)を発行して今年の6月でNo.242となり、すでに20年間継続されています。医薬品情報誌(薬匙)は高崎市薬剤師会より近隣の院外薬局へ配布されています。

4. 医薬品管理業務

病院で使用する薬品の発注、納品、在庫管理をします。

5. 製剤業務

種類は少なくなりますが、市販されていない薬を必要に応じて製剤しています。また、抗癌剤やTPN(中心静脈栄養剤)の調製を休日も含め毎日行っています。

製剤業務



安全キャビネット
(抗癌剤のミキシング)




クリーンベンチ
(TPNのミキシング)

6. 薬剤管理指導業務

外来や病棟等において患者さんとご家族へ薬の説明をして、服薬状況、効果や副作用があるかを確認し治療向上に寄与しています。薬について知りたいことがあれば薬剤師にどんどん聞いて下さい。

7. 治験業務

新しい薬の候補を患者さんに同意を戴き、使用して効果と安全性を調べます。平成27年6月時点では乳腺内分泌外科、循環器内科、神経内科、消化器内科、脳神経外科、精神科で23課題の治験が実施されています。

次ページへ 

薬剤科から薬剤部へ

前ページより

8. 病棟薬剤業務

医師の業務負担軽減や薬の適正使用を目的として、入院時に患者さんが持参した薬の鑑別に始まり、入院後に当センターから出た薬も含め薬が安全に使用されているかをみています。各病棟、救命センターに薬剤師が配置されています。

病棟担当薬剤師

病棟	担当	副担当
救命救急ICU	齋藤 心 篠原 桃子	金田 知詞
南4階病棟	吉田 紗希	茂木 春香
北4階病棟	櫻井 史子	
南5階病棟	檜原 央子	板垣 吉明
北5階病棟	久保田 将史	
南6階病棟	加藤 由佳理	神倉 亜耶
北6階病棟	田中 美香	
南7階病棟	大野 昭一朗	能上 莉奈
北7階病棟	松井 雄太	

どんどん、薬剤師に聞きましょう！

9. チーム医療

2010年厚生労働省による「チーム医療の推進に関する検討会」以降、感染対策チーム・褥瘡対策チーム・栄養サポートチーム・緩和ケアチーム等ができ、医療従事者がお互い対等に連携することで患者中心の医療を行っています。

10. 薬学部生実務実習

平成18年度より学校教育法が改正され薬学部が6年制となり、5年生において病院と薬局それぞれ11週間の実務実習が行われることになりました。当センターでは、1年間に4名ずつ3期に分かれ薬学生が来て、指導薬剤師のもと実習をしております。

薬学生実務実習

薬学部5年生 11週間の実習

1期 5月～7月

2期 9月～11月

3期 1月～3月

各期 4名



病棟等へもいきますので宜しくお願いします。

11. 薬薬連携

病院と主に高崎市薬剤師会の薬剤師で、患者さんの病院から院外薬局までの薬物治療管理を一貫するために、薬の情報を共有して患者さんにとって長く治療の継続ができるかを検討しています。

最後に、今後薬剤部が求められることは、癌治療や緩和医療、救急医療に対する専門性を持った薬剤師の養成と政府が行っている病床数の減少により、10年後には70万人もの人が在宅で看取ることになります。そのため病院薬剤師でも退院後の医療の貢献が求められますので、在宅医療を学び、できるところから参加していきたいと考えています。

(薬剤部長:糸井 重勝)

がん地域連携クリニカルパス

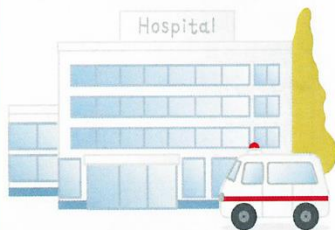
(がん地域連携パス)

をご存知ですか？

がん地域連携クリニカルパス(がん地域連携パス)とは、患者さんの病気にあわせた**治療に関する連携計画書**のことです。当センターのようながん診療連携拠点病院の**専門医**と地域の連携医療機関の**かかりつけ医**の2人が主治医になり、がん地域連携パスを用いて、連携しながらあなたの診療を行います。

がん診療連携拠点病院(専門医)

高崎総合医療センター



- 手術
 - 化学療法
 - 放射線治療
 - CT/MRI/内視鏡 など
- 緊急時の対応

※ 節目に受診

がん地域連携パス手帳
(患者さんのカルテ)



地域の連携医療機関

かかりつけ医



- 日常生活の管理
- 定期的な受診
- 採血
- 投薬
- 異常の早期発見

がん地域連携パスで
つながっています



がん地域連携パス手帳
(患者さんのカルテ)

薬局



群馬県内のがん診療連携拠点病院では、地域の連携医療機関と協力して「がん地域連携パス」を活用し患者さんにわかりやすく安全で質の高い医療を提供します。

市民健康医学講座の報告

『いきいき前向き更年期』 ～中高年のメンタルヘルス～



精神科部長 井田 逸朗

【はじめに】

我が国の年間の自殺者数は、平成25年度では27,283人と、平成23年15年ぶりに3万人を下回って以来減少傾向にはあるものの、いまだ高止まりの様相を呈しており、年齢別では50歳代から60歳代の中高年が多くなっています。自殺で亡くなった方を調べてみると、高率に精神疾患の合併がみられ、とりわけうつ病の合併が3割から7割みられることから、自殺防止対策には、うつ病などの精神疾患の予防が欠かせないと言えます。高崎総合医療センターでは、救急救命センターにおいて、搬送された自殺未遂者への援助を行っていますが、ここでも、うつ病の合併率は3割にみられ、大量服薬、刃物、毒物嚥下などさまざまな方法で企図を行っております。



【うつ病とは？】

笠原による軽症うつ病の急性期症状としては、起床時の憂うつな気分や出勤への意欲低下など朝の不調、プライベートにも趣味への関心の低下、社交面の障害、そして睡眠障害や食欲低下といった身体症状が特徴的で、特に身体症状が内科などプライマリ・ケア医への受診へつながり、そこで、うつ病が発見されることが多くなっています。

【うつ病の原因と更年期】

うつ病の原因としては、老年期を迎える方々にとって、健康への不安、老後の不安、友人、知人との別離・死別など様々な「喪失体験」が誘因となります。女性は、更年期を迎え、さまざまなストレスからこころやからだを保護してくれていた女性ホルモンの働きが低下することで、うつ病の発症リスクが増えていきます。男子絵においても同様で、男性ホルモンの低下が、性機能の低下をもたらすだけでなく、女性同様、ストレスへの抵抗力を減退させることから、うつ病発症リスクをたかめるものと考えられています。




【うつ病を予防する】

こころの健康に大切な要因としては、良い睡眠を確保することが重要です。良い睡眠を確保するために大切なことから、スライド1～5に示しました。中高年のこころの健康はまず、良い睡眠を確立することが必要です。更年期を迎えても、前向きにいきいきと生活するためにも、ぜひこころがけましょう。

次ページへ 

市民健康医学講座

 前ページより

よい睡眠のために

1. 快適睡眠でいきいき健康生活

- ・ 快適な睡眠で、疲労回復・ストレス解消・事故防止
- ・ 睡眠の問題→ 高血圧・心臓病・脳卒中などのリスクが上昇
- ・ 定期的な運動習慣は熟睡をもたらす
- ・ 朝食は心と体の目覚めに重要



2. 睡眠は人それぞれ、日中元気はつらつが 快適な睡眠のバロメーター

- ・ 自分にあった睡眠時間を(8時間に拘らない)
- ・ 年齢を重ねると実際の睡眠時間は短くなる
- ・ 寢床で長く過ごしすぎると熟睡感が減る



3. 快適な睡眠は、自ら創り出す

- ・ 夕食後のカフェイン摂取は寝付きを悪化
- ・ 「睡眠薬代わりの寝酒」は睡眠の質を悪くする
- ・ 不快な音や光を防ぐ環境づくり
- ・ 自分にあった寝具の工夫を



4. 眠る前に自分なりのリラックス法、眠ろう とする意気込みが頭をさえさせる

- ・ 軽い読書、音楽、香り、ストレッチ、ぬるめの入浴などで
リラックス
- ・ 自然に眠たくなってから寢床へ、眠ろうと意気込むと逆効果



5. 睡眠障害は、専門家に相談

- ・ 睡眠障害は「体や心の病気」のサインのことがある
- ・ 寝付けない、熟睡できない、夜間眠っても日中の眠気が
強いときは要注意
- ・ 激しいいびき、脚のむずむず感も要注意



がん患者さんやそのご家族の集いです

ほっとさろん・たかさき

さろんには、
ピアサポーターも
参加します。



お茶を飲みながら
病気のことや日々の生活のことなど

当日は、高崎総合医療センター相談支援センターの
看護師やソーシャルワーカーも参加いたします。

当センターでは、
がんさろんを月1回
開催しております。
がん患者さんやその
ご家族に、ご自由に
参加して頂いており
ます。
事前の申し込みは
必要ありません。

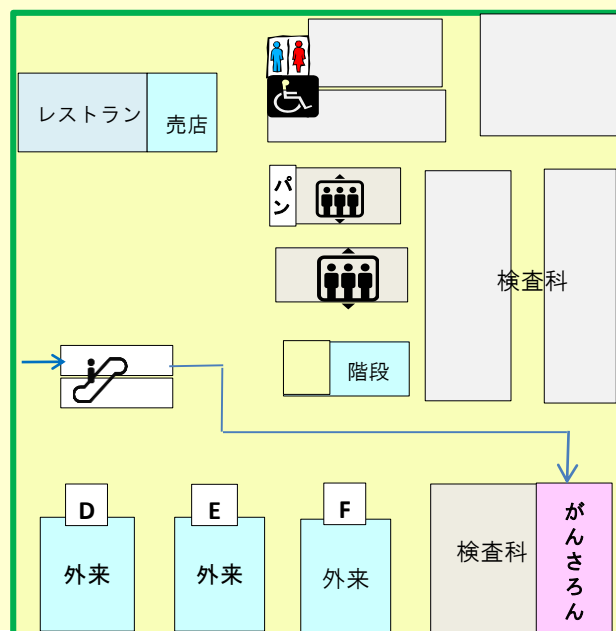
とき：平成27年 4月24日（金） 5月22日（金）
6月26日（金） 7月24日（金）
8月28日（金） 9月25日（金）
10月23日（金） 11月27日（金）
12月25日（金）
平成28年 1月22日（金） 2月26日（金）
3月25日（金）
毎回 13時 30分～15時 30分

ところ：高崎総合医療センター2階
Fカウンターの奥 市役所側

皆さまのご参加
をお待ちして
おります。

- 当院へ駐車の場合、駐車料金（4時間まで200円）がかかります。
ご了承下さい。さろんについてのお問い合わせは、高崎総合医療センター
相談窓口までお願い致します。 電話：322-5901（病院代表）

2階ほっとさろん案内図



心臓CT

心臓・脳血管カテーテルセンター／循環器内科

心臓CTのご案内



♥ 当センターの心臓CTについて

心臓CT検査は最近テレビ番組等でご存じかもしれませんが、外来で狭心症や心筋梗塞などの心臓の血管の病気を調べることができます。当センターでは2008年から行っており、現在年間1000名以上の方々にご利用いただいています。当センターのCTはカメラで言うところのシャッタースピードが世界一速い非常に高性能な機種を使用しています。そのため、常に動いている心臓を美しい画像で撮影できます。

♥ 心臓の病気は早期発見が重要

心臓の血管の病気は無症状で進行します。心電図では心臓の病気が進行してからでないといけません。長い潜伏期間を経て初めての胸痛が出たときには手遅れになることもありますので、**早期発見が重要です。**下記のような方は、**気軽に循環器内科を受診してください。**



階段や坂道を上ると胸が痛いや違和感・あごが痛い・腕が痛い・胃が痛い方
無症状で糖尿病・高血圧・脂質異常症・喫煙・メタボで心臓が気になる方

♥ 病診連携による心臓CTの予約

開業医の先生方とも連携していますので、かかりつけの先生に相談していただいて当センターの地域医療支援・連携センターを通じて、**診察予約と心臓CT検査を同じ日に予約**できます。

♥ お問い合わせについて

心臓CTで質問があるかたや詳しく聞きたい方は、月・水・木の循環器内科の静医師の外来日の12時30分ごろAブースに声をかけてください。外来診察終了後に説明いたします。心臓CTの質問のみでしたら費用はかかりませんのでお気軽にご相談ください。

医療機器共同利用のご案内

～医療機器共同利用について～

当センターで保有しています医療機器を、地域の医療機関の先生方にもご利用いただき、患者さんの診療および治療に役立てていただくため、医療機器の共同利用を行っています。

このシステムのご利用にあたり、手続きが必要です。手続きに関するお問い合わせは、地域医療支援・連携センターまでご連絡ください。

＜お問い合わせ＞

地域医療支援・連携センター
(平日 8:30～17:00の間)

直通電話 027-322-5835
直通FAX 027-322-5925

○検査項目一覧

CT	通常撮影の他に		
	・CTAngio	脳血管	
		冠動脈	
		胸部大動脈	
腹部大動脈			
	下肢血管		
	・CTコノグラフィ	大腸	
	・Dual Source CT		
MRI	通常撮影の他に		
	・MR Angio	脳血管	
		冠動脈	
	・MRTラクトグラフィ		
	・MR VSRAD		
	・MRS		
・MRCP			
核医学検査	・頭部	脳血流シンチ	IMP
			ECD
		脳腫瘍	タリウム
		神経受容体	ベンゾダイン
	・頭頸部	唾液腺シンチ	TcO ₄ ⁻
	・甲状腺	ヨード摂取率	
		副甲状腺	MIBI
	・肺	換気	Kr
		血流	MAA
	・心臓	安静心筋	Tc・TI・MIBG
		薬物負荷心筋	Tc・TI
		心筋脂肪酸代謝	2核種
	・腹部	副腎皮質	アドステロール
		副腎髄質	I-123MIBG
		消化管出血	
・全身	腎臓		
	骨		
	ガリウム		
	タンパク漏出		

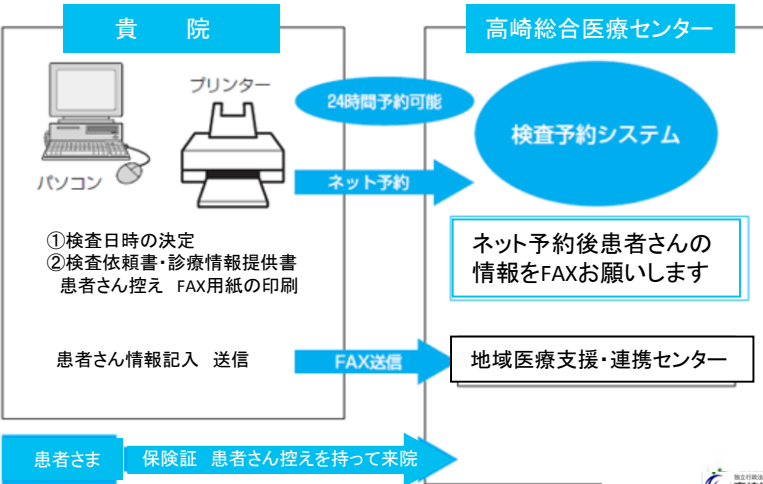
※ 核医学の検査項目は実施できる曜日が限られております。キャンセルが出来ません。

事前準備が必要な場合がございますので、予約の際に当センター放射線技師が対応いたします。

CT検査を ネットでいつでも予約

今まで電話対応しておりました単純CT予約をインターネットで24時間予約が出来るようになりました。

※一部制約はありますが、ご利用ください。



※制約

- ・造影検査には対応していません
- ・予約可能日時に制約があります
- ・予約時間が午後になります
- ・ネットだけでなくFAXも併用いたします

予約の流れ抜粋

高崎総合医療センター
予約システムメニュー
予約
予約照会
予約情報
ログアウト

予約状況
※当月先まで、予約を入れることができます。
※検査は火曜日～金曜日の14:00～15:00です。予約の締め切りは、前営業日の15:00です。

2015年04月						
月	火	水	木	金	土	日
-	-	1	2	3	4	5
-	-	7	8	9	10	11
6	○2	○2	○2	○2	○2	12
13	○2	○2	○2	○2	○2	19
20	○2	○2	○2	○2	○2	26
27	○2	28	29	30	-	-

ログイン後
カレンダーから
予約状況を確認し、予約したい
日をクリック

必要事項を入力す
すぐに予約が取得

検査依頼入力フォーム

【依頼元 医療機関 印】
名称: 高崎 病院
住所: 高崎 市 高崎 1-1-1
Tel: 027-322-5835
Fax: 027-322-5925

【依頼先 医療機関 印】
名称: 高崎総合医療センター
住所: 高崎 市 高崎 1-1-1
Tel: 027-322-5835
Fax: 027-322-5925

検査年月日: 2015年04月23日 検査時間: 14:00～15:00

氏名: 山崎 太郎 22 (33) 種

【検査目的】
○ 造影
○ 造影なし

【検査部位】
○ 造影
○ 造影なし

【検査部位】
○ 造影
○ 造影なし

【検査部位】
○ 造影
○ 造影なし

患者さんへお渡しする
資料も、予約と同時に
印刷できます。

○読影レポート付きです

○このサービスは高崎総合医療センター
連携医療機関専用となっております。

○ご利用には事前登録が必要です、ご希望
の方は地域医療支援連携センターにお問
い合せください。

Tel: 027-322-5835
Fax: 027-322-5925

栄養だより

突撃! ? 栄養士のお昼ごはん



今月の栄養だよりは、栄養バランスの整ったお弁当作りのポイントについてです。
栄養士のお弁当の中身も公開します!

☆お弁当作りのポイント☆



① たんぱく質のおかずばかりにしない!

ウインナー、唐揚げ、ハンバーグ、たまご焼き・・・みんなが好きなお弁当のおかずは、たんぱく質のものが中心です。

しかし、1食に必要なたんぱく質は大人でもMサイズのたまご1ケ分あれば十分なのです。

好きなおかずばかり、あれもこれも・・・では、栄養のバランスが偏ってしまいます。

たんぱく質の多い肉・魚・たまご・大豆製品(豆腐類)のおかずばかりにならないようにして、

ごはん：野菜：おかず = 3：2：1を目安に作ってみてください。

② 彩りよく、色々なカラーの食材を使う!

あか、みどり、オレンジなど様々な色のあるお弁当は美味しそうに見えますね。

そういった彩りを増やそうとすると、ほうれん草のみどり色、トマトのあか色、にんじんのオレンジ色・・・と自然と野菜の多いお弁当にすることができます。

栄養バランスが整うだけでなく、ボリュームがアップし満足感も得られます。



③ ごはんは減らさずに、きちんと詰める!

若い女性ですと、すごく小さなお弁当箱にごはん半分・・・そんな少力で足りるの! ? という方も見受けられます。

しかし、主食量が極端に少ないと途中で小腹が空いてしまい、間食の原因にも。

ごはんやパンなどの炭水化物イコール太る! という認識の方もいるようですが、それは間違いです。

もちろん、炭水化物のとりすぎはエネルギー過剰となり太る原因ですが、減らしすぎはエネルギー不足となってしまう太りやすい溜め込み体質にもなりかねません。

主食となる炭水化物(ごはん・パン・麺類など)はきちんととりましょう。

ちなみに、当院の一般食：常食はごはん200gです。

栄養だより



ごはん：野菜：おかず
＝3：2：1
くらいを目安にしましょう

☆お弁当ギャラリー☆



鯛めし
茄子とわかめの味噌汁
フロッキーのナムル
ひじきと蓮根のきんぴら
サンゴールドキウイ

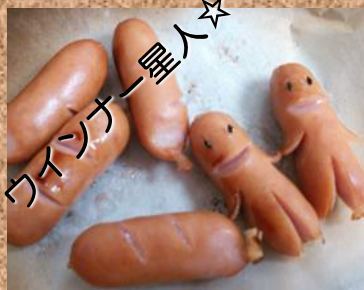
海草や蓮根で食物繊維UPメニュー！



肉汁うどん
蒸し茄子 しょうがタレ
きゅうりとカブの即席漬けゆず風味
トマトとレタスのサラダ
ぶどう(レッドグローブ)

塩分量が多くなる麺類は、生野菜や果物でカリウム補給！

★★おまけ★★



くまオムライス



ダイオウゲソクムシ??

セカンドオピニオンのご案内

当センターではセカンドオピニオン外来を実施しております。
概要につきましては以下のとおりです。

◆◇対象患者さん◇◆

- ・現在当センター以外の医療機関で診療を受けている患者さん、ご家族
- ・現在の主治医（他医療機関）の診断及び治療方針について、当センター医師に参考意見を求め、患者さんご本人が自らの疾患をより理解し適切な診療を選択する等の為に、セカンドオピニオン外来の活用を望む方
- ・原則として主治医（他医療機関）からセカンドオピニオンを目的とした紹介状及びフィルム等の検査資料を当院に提供可能な患者さん、ご家族であることを要します（主治医にセカンドオピニオンを受けるための紹介状等をお願いすれば対応してもらえます）
- ・相談者をご家族の場合は、原則として患者さんの同意を得た場合といたします

◆◇実施診療科◇◆ 【各科の専門医が対応いたします】

内科・神経内科・精神科・呼吸器内科・消化器内科・循環器内科・小児科
外科・乳腺、内分泌外科・整形外科・脳神経外科・呼吸器外科・心臓血管外科
皮膚科・産婦人科・泌尿器科・眼科・放射線診断科・放射線治療科・歯科口腔外科

◆◇予約方法◇◆

*完全予約制です

受付時間 月曜～金曜 8時30分～17時の間

※ 精神科の受付時間は 月曜～金曜 8時30分～12時迄となります

事前にご予約電話を受け付け、担当専門医と日程調整を行った後に折り返し当センターより連絡させていただきます

代表 027-322-5901 にお電話頂きセカンドオピニオン係とお申し付け下さい

◆◇セカンドオピニオン外来時間◇◆

月曜～金曜 13時30分から15時30分の間で調整
(診療科によって曜日は異なります)

◆◇費用◇◆

30分以内 5,400円(消費税込み)1回につき 10,800円が上限となります

セカンドオピニオン外来担当表

科名	医師名	専門	曜日
内科	佐藤 正通	内科全般、血液内科	火曜日
精神科	井田 逸朗	がんのメンタルヘルス	木曜日
神経内科	石黒 幸司	神経内科学、神経内科一般	金曜日
呼吸器内科	茂木 充	呼吸器全般	金曜日
	清水 雄至	呼吸器全般、アレルギー疾患(眼・鼻・皮膚・除く)	火曜日、金曜日
消化器内科	工藤 智洋	食道、胃、大腸	木曜日
	長沼 篤	消化器病一般、肝臓病	木曜日
循環器内科	広井 知歳	狭心症・心筋梗塞の治療(カテーテル治療)	金曜日
小児科	五十嵐 恒雄	小児科全般・未熟児・新生児	水曜日
外科	小川 哲史	消化器外科全般、特に悪性腫瘍の手術	木曜日
	饗場 正明	消化器外科全般	水曜日
	坂元 一郎	消化器外科全般	水曜日
乳腺・内分泌外科	鯉淵 幸生	乳癌全般・甲状腺外科	第1・3・5週 金曜日 午前
整形外科	新井 厚	脊椎・脊髄疾患、整形外科全般	月曜日
脳神経外科	栗原 秀行	脳・脊髄腫瘍、脳神経外科全般	火曜日
	笹口 修男	脳血管障害	木曜日
呼吸器外科	菅野 雅之	肺癌、縦隔腫瘍、呼吸器外科全般	木曜日
心臓血管外科	坂田 一宏	心臓血管外科全般(小児などの先天性疾患は除く)	木曜日
皮膚科	龍崎 圭一郎	皮膚外科、皮膚腫瘍	火曜日
産婦人科	伊藤 郁朗	婦人科腫瘍	月曜日、火曜日、金曜日
眼科	土屋 明	眼科全般(眼腫瘍を除く)	水曜日、木曜日
放射線診断科	根岸 幾	画像診断CT・MR中心	木曜日
	佐藤 洋一	画像診断CT・MR中心	火曜日
放射線治療科	北本 佳住	悪性疾患の放射線治療	金曜日
歯科口腔外科	高崎 義人	口腔外科全般、顎変形症、インプラント	月曜日、水曜日、木曜日
泌尿器科	井上 雅晴	泌尿器科全般	火曜日

医師 紹介コーナー



当センターの医師を紹介します



脳神経外科 狩野 忠滋 (かのう ただしげ)

平成27年4月から脳神経外科に勤務しております狩野忠滋と申します。群馬県立前橋高校の出身です。平成13年に慶應義塾大学医学部を卒業し、関連病院や大学での臨床と研究を行ってきました。大学時代は、主に脳腫瘍と定位機能神経外科(パーキンソン病に対する深部脳刺激術などが有名です。)の診療に従事してまいりました。平成22年からは、伊勢崎市にあります美原記念病院に勤務しました。それまでの診療分野に加えて脳血管障害に力をいれて研鑽を積んでまいりました。

近年、脳神経外科ではカテーテルによる血管内治療が盛んになっております。具体的には脳動脈瘤のコイル塞栓術や急性期脳梗塞の血栓回収術などです。当センターでも、血管内治療に積極的に取り組んでおり、年間の手術数は増加傾向にあります。私も脳血管内治療専門医を活かして、治療に携わらせていただいています。今までの経験を糧に、皆様のお役に立てますよう努力していく所存です。何卒よろしくお願いたします。



小児科 荒川 直哉 (あらかわ なおや)

こんにちは。平成27年4月より小児科で勤務させていただいております荒川直哉です。もともと群馬県出身で東京の大学に通っておりましたが、卒業とあわせて群馬での医療を担いたいと思い群馬へ帰ってきました。研修時代は群馬大学にて多くの科で過ごさせていただきましたが、子供の元気になる姿をみるのが好きで今年から小児科医師として高崎医療センターにお世話になっております。

東京にいた時は目の前がビルばかりでしたが、高崎総合医療センターの目の前は、鳥川や観音山があり、毎日自然を望みながら生き生きと医療をさせていただいております。医師としても、小児科医師としてもまだまだ走り出したばかりですが、子供やご家族の方には丁寧な診療を心がけ、関わった方がみんな笑顔になれるよう日々診療させていただきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

登録医 ご紹介コーナー

リーフレットから順番にご紹介しています

● 当センターの登録医の先生をご紹介します。

松岡デンタルクリニック



松岡 洋一 院長

【院長】松岡 洋一

【所在地】藤岡市上大塚258-1
ヴィラウイスタリア1階

【電話】0274-22-5533

【診療科】歯科一般・小児歯科

◎ご挨拶（紹介リーフレットより）

歯科に研修を重ね、日々これ精進している毎日であります。体に優しい全身の状態を考慮した治療を心掛けております。又、最先端の医療も取り入れ、なるべく歯を抜かなくてもいいような治療を心がけております。

在宅医療に力を入れて毎週木曜日は往診を行っております。
お体の状態を考慮して、出来る限りのいい治療をしたいと心掛けております。

斎川産婦人科医院



【院長】斎川 俊一
斎川 雄弘

【所在地】高崎市岩押町31-10

【電話】027-327-0462

【診療科】産婦人科

◎ご挨拶（紹介リーフレットより）

お産を中心に地域医療に貢献出来る様、取り組んでいく所存です。宜しくお願いいたします。開院40年来、小さいけれど家庭的なあたたかみのある産婦人科を目標に診療を行っております。

高崎総合医療センター 外来診療担当表

(平成27年6月1日現在)

	月	火	水	木	金
総合診療科・内科	佐藤 正通	合田 史	合田 史	佐藤 正通	佐藤 正通
	渡邊 俊樹	渡邊 俊樹		渡邊 俊樹	(川田 悦夫)
内分泌代謝外来		(小澤 厚志)	(道又 敏夫)	合田 史 午後・予約専門外来 (石井 角保) 午後	
リウマチ外来					(井上 誠)
神経内科	金井 光康	柴田 真	石黒 幸司	金井 光康	(櫻井 篤志)
	(櫻井 篤志) 午後のみ・紹介・予約				
呼吸器内科	茂木 充	茂木 充	清水 雄至	茂木 充	清水 雄至
	佐藤 麻里	上野 学	原田 直之	原田 直之	(相澤) / 上野
消化器内科	長沼 篤	工藤 智洋	(宮前 直美)	長沼 篤	工藤 智洋
	吉田 はるか	星野 崇	上原 早苗	林 絵理	星野 崇
	林 絵理	植原 大介	椎名 啓介	椎名 啓介	岡野 祐大
	(蘇原 直人) 午後		石原 弘 午後		
内視鏡検査	星野 / 椎名	林 / 岡野	工藤 / 吉田	工藤 / 植原	長沼 / 上原
循環器内科 (ハートカール外来)	齋藤 章宏	小林 洋明	広井 知歳	福田 延昭	柳澤 三朗
	菅野 幸太	高橋 伸弥	静 毅人	原田 智成	田村 峻太郎
		(金澤 紀雄) 再来のみ		(金澤 紀雄) 再来のみ	(本多 忠暁)
精神科	井田 逸朗	井田 逸朗	井田 逸朗	井田 逸朗	井田 逸朗
	平野 かほり	平野 かほり	平野 かほり		平野 かほり
小児科	五十嵐 恒雄 午前のみ・紹介・予約	佐藤 幸一郎	五十嵐 恒雄 午前のみ・紹介・予約	関根 和彦 午前のみ	金子 真理 午前のみ
	関根 和彦 午前のみ・紹介・予約	山本 順子 午前のみ・紹介・予約	金子 真理 午前のみ	倉田 加奈子 午前のみ・紹介・予約	佐藤 幸一郎 午前のみ
	荒川 直也	五十嵐 恒雄 午後のみ・紹介・予約	倉田 加奈子 午後のみ・紹介・予約	荒川 直也 午前のみ・紹介・予約	山本 順子
	金子 真理 午後のみ・紹介・予約	(神尾 綾乃)	関根 和彦 午後のみ・紹介・予約	金子 真理 午後のみ・紹介・予約	五十嵐 恒雄 午後のみ・紹介・予約
	佐藤 幸一郎 午後のみ・紹介・予約		乳児検診 午後のみ	佐藤 幸一郎 午後のみ・紹介・予約	
外科	坂元 一郎 [消化器]	<手術日>	饗場 正明 [消化器]	小川 哲史	清水 尚
	宮前 洋平		佐藤 泰輔	須藤 雄仁	塚越 浩志
ストーマ外来			第2・4週目午後のみ・予約	第1・3・5週目午後のみ・予約	
泌尿器科	井上 雅晴	(高橋 悟)	濱野 達也	井上 雅晴	(中山 紘史)

- (注) 1. 受付時間は08:30~11:00迄となっております。予約の場合は、最終予約時間迄となっております。なお、再来受付機は08:15から受付しております。
 2. 精神科の初診の患者さんは完全予約制となります。精神科外来までご連絡をいただき、来院日のご予約をお願いいたします。
 3. 土、日、祝日、年末年始は休診です。
 4. 紹介状のお持ちの方、紹介事前予約の方は、地域医療支援連携センター窓口で受け付けております。
 5. 学会等により、休診または医師が交替する場合があります。院内掲示をご覧ください。
 6. 待ち時間を少なくするため予約診療をお勧めします。診療予約は、各科外来で医師にご相談ください。
 7. ()の医師は非常勤です。



当センターは、地域医療支援病院として運営しております。
 かかりつけ医の先生からの紹介状をご持参願います。

高崎総合医療センター 外来診療担当表

(平成27年6月1日現在)

	月	火	水	木	金
緩和医療科	田中俊行 鯉淵幸生 <small>[乳腺・甲状腺]</small>	田中俊行 鯉淵幸生 <small>[乳腺・甲状腺]</small>	田中俊行 鯉淵幸生 <small>[乳腺・甲状腺]</small>		田中俊行 鯉淵幸生 <small>第2・4週目</small>
乳腺・内分泌外科		常田祐子 <small>(小田原 宏樹)</small>	荻野美里	午前中予約のみ <small>(高他 大輔) 第1・3・5週目 午後のみ</small>	荻野美里 <small>第1・3・5週目</small>
心臓血管外科	<手術日>			坂田 一宏	小谷野 哲也
呼吸器外科		渥実潤	<手術日>	菅野雅之 渥実潤 <small>午後</small>	
整形外科	新井 厚	鈴木純貴	新井 厚	<手術日>	大澤敏久
	荒 毅	<毎週交替>	大澤敏久		下山大輔
	下山大輔	<small>(須藤 柳澤) 午前 午後</small>	荒 毅		鈴木純貴
形成外科	<手術日> <small>(午前)</small>	内田悦弘	<手術日> <small>(午前)</small>	内田悦弘	
脳神経外科	狩野忠滋	栗原秀行	<手術日>	笹口修男	大谷敏幸
皮膚科	龍崎圭一郎	龍崎圭一郎 <small>[学外外来] 午後予約</small>	<手術日>	龍崎圭一郎	龍崎圭一郎
	岡田悦子	岡田悦子		岡田悦子	岡田悦子
産婦人科	伊藤郁朗	伊藤郁朗	岩宗政幸	片貝栄樹	伊藤郁朗 <small>第2週は紹介・予約のみ</small>
	片貝栄樹	片貝栄樹	<small>(木暮圭子) <産後検診></small>	小暮佳代子	青木 宏
	小暮佳代子	青木 宏		<small>(金井 眞理)</small>	岩宗政幸
眼科	土屋 明	土屋 明	土屋 明	土屋 明	土屋 明
耳鼻いんこう科				<small>(高安幸弘) 午前のみ・紹介・予約</small>	
放射線治療科	北本佳住 <small>紹介・予約</small>	北本佳住 <small>紹介・予約</small>		北本佳住 <small>紹介・予約</small>	北本佳住 <small>紹介・予約</small>
	永島潤 <small>紹介・予約</small>	永島潤 <small>紹介・予約</small>		永島潤 <small>紹介・予約</small>	永島潤 <small>紹介・予約</small>
歯科口腔外科	高崎義人 <small>紹介・予約</small>	高崎義人 <small>紹介・予約</small>	高崎義人 <small>紹介・予約</small>	高崎義人 <small>紹介・予約</small>	高崎義人 <small>紹介・予約</small>
	山田健太郎 <small>紹介・予約</small>	山田健太郎 <small>紹介・予約</small>	稲川元明 <small>紹介・予約</small>	片山雅文 <small>紹介・予約</small>	三浦秀憲 <small>紹介・予約 第1・3・5週目</small>
	片山雅文 <small>紹介・予約</small>	片山雅文 <small>紹介・予約</small>	山田健太郎 <small>紹介・予約</small>	栗原絹枝 <small>紹介・予約</small>	山田健太郎 <small>紹介・予約</small>
	栗原絹枝 <small>紹介・予約</small>	栗原絹枝 <small>紹介・予約</small>	栗原絹枝 <small>紹介・予約</small>		片山雅文 <small>紹介・予約</small>
			本橋佳子 <small>紹介・予約</small>		栗原絹枝 <small>紹介・予約</small>
摂食・嚥下、口腔ケア外来	稲川元明 <small>紹介・予約</small>		稲川元明 <small>紹介・予約</small>		
			飯田貴俊 <small>紹介・予約</small>		

【土曜日でも予約受付を行っています】

当センターは土曜日（祝日を除く）も紹介患者の事前予約対応を行っております。従来通り、医療機関からのご紹介に限ります。

当センターへの紹介の際は、地域医療支援・連携センターを通した事前予約にご協力下さい。

【連携センターからのお願い】

ご紹介を頂く際、患者さんの内服状況を確認させて頂いております。お手数をおかけしますが、内服薬をご確認の上ご紹介頂きますようお願い致します。

連絡先: 高崎総合医療センター内

地域医療支援・連携センター

直通電話: 027-322-5835 (9時~17時 日・祝休み)



行事などのお知らせ ～当センターで実施する行事等～

【市民健康医学講座】

『ピロリ菌にまつわる最近の話題』

日時：平成27年8月19日（水）
18時～

講師：消化器内科部長
工藤 智洋

場所：当センター2階 大会議室

対象：一般の方、医療従事者

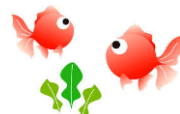
【Cancer Board】

8月はお休みです



【CPC（臨床病理示説会）】

8月はお休みです。



高崎総合医療センターでは、自宅や介護施設などに入所して療養している胃ろう造設患者の胃ろう交換を、訪問して行います。ご希望の方は主治医とご相談の上、下記までご連絡下さい。

訪問日：毎月 第3火曜日 午後（事前予約制）

連絡先：高崎総合医療センター内 地域医療支援・連携センター

直通電話：027-322-5835（8時30分～17時）



【市民公開講座】

『もしも「がん」と言われたら』

日時：平成27年10月10日（土） 13時～（予定）

場所：高崎市総合福祉センター たまごホール

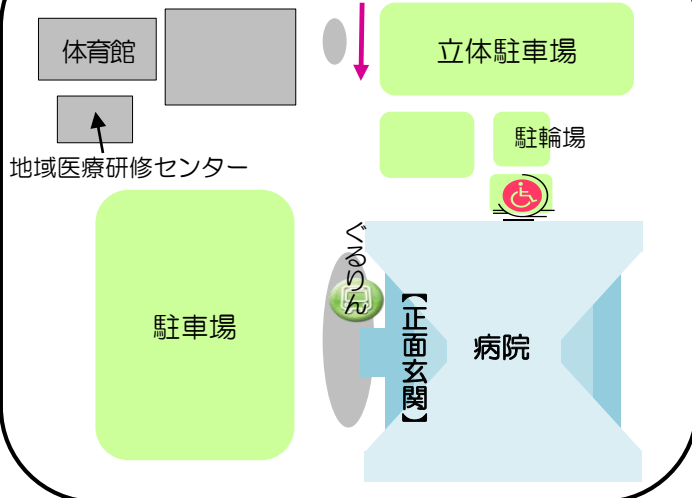
対象：一般の方、医療従事者



※詳細は決まり次第ご案内いたします。

高崎総合医療センター 案内図

【出入口】



●●● バックナンバー ●●●

当センターのホームページより広報紙バックナンバーをご覧いただけます。

<http://www.tnho.jp/koho/index.html>

■■■ 編集室より ■■■

登録医の先生方からのご寄稿・ご意見をお待ちしております。地域医療支援・連携センターまでご連絡をお願い致します。

電話 027-322-5835
（地域医療支援・連携センター直通）